

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
設計計画 2											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	岩田 明士、他			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ事務所で勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年行う。 資格:一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級											
授業概要											
産学連携・地域連携の一環で、大田区内の敷地を対象とした建築物を設計する課題に取り組む。まず大田区の都市計画の方針やまちづくりの現状を学び、敷地周辺を調査し住民の要望が少しでも反映できるような情報を得て設計を開始する。より高度な設計作品となるように、毎回、教員・講師との対話の中から自己の設計案をレベルアップさせていくことが学習目的である。											
到達目標											
社会ニーズを読み解き、時代に即した解決案を提案する。敷地の調査を入念に行う。地域の環境にふさわしい案を検討する。構造形式を理解して計画する。地域ならではの設計提案を期限内に完成させ、地域の方々へも発表していくことが到達目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション 各スタジオスタート、エスキス1、スタディ1										
第2回	エスキス・スタディ2 作業、エスキス指導、プログラムを考える、ストーリーを考える										
第3回	エスキス・スタディ3 作業、エスキス指導										
第4回	エスキス・スタディ4 中間発表会に向けて、作業、エスキス指導										
第5回	エスキス・スタディ5 中間発表会に向けて、作業、エスキス指導										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
設計計画 2	
第6回	中間発表会 発表会
第7回	エスキス・スタディ 6 企業中間を受けて、最終案の確定、手直し、C A D ・模型作業その他
第8回	エスキス指導、作業 最終案を基に作業を進める
第9回	完成前の確認（1） レイアウトプレゼン相談、作業分担、案の確認
第10回	完成前の確認（2） 模型写真撮影、プレゼン他、作業、指導、チェック
第11回	完成前の確認（3） 作業、指導、チェック
第12回	最終提出 確認 データ、図面、模型他
第13回	展示・発表会 準備、展示会、講評会、片づけ